

令和8年 1月吉日

## 第3回「伊藤熹朔記念賞」のご案内

一般社団法人 日本舞台美術家協会  
代表理事／伊藤熹朔記念賞運営委員会 委員長  
綿谷 登

謹啓

寒冷の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より当協会の活動に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、当協会では国内外における舞台美術の発展と交流を目的に、さまざまな取り組みを行っております。昨年は、アラブ首長国連邦シャルジャにて開催された「ワールド・ステージ・デザイン 2025 (WSD2025)」に参加し、劇場芸術国際組織 (OISTAT) およびシャルジャ・パフォーマンス・アーツ・アカデミーとの連携のもと、日本の舞台美術の創造性と多様性を世界に向けて発信する貴重な機会を得ました。特に、視覚障がい者にも舞台美術を体験していただける「触る模型」の展示は、国際的にも高い評価を受け、持続可能で包摂的な芸術文化のあり方を示す一歩となりました。

このような国際的な活動と並行して、当協会では法人移行を機に、中核的活動として長年継続してきました「伊藤熹朔賞」を、その理念を踏襲し、あらゆるジャンルの舞台美術の賞「伊藤熹朔記念賞」として、2022年4月に第一回を開催いたしました。隔年開催となった2024年第二回においても、多数の作品が集まり、会場を華やかに彩りました。受賞作品はじめ数々の素晴らしい舞台美術の創造とそれに携わった方々への敬意とともに「伊藤熹朔記念賞」の運営にご協力頂きました外部審査委員の方々、本事業にご支援いただいているサポーターの方々や関係各位にあらためて心より謝意を表します。

**そして2026年4月に「伊藤熹朔記念賞」は、第3回の開催を迎えます。**

日本舞台美術家協会は「伊藤熹朔記念賞」の運営を中心に様々な活動を通じて地域や国際的な交流の場で舞台美術の新たな才能や表現を発表・発掘・研究・顕彰を推進し、新たな持続可能な芸術文化の創造を目指してまいります。

これからも引き続き 皆様の一層のご理解ご協力のほど 宜しく願い申し上げます。

謹白